

見積参考資料

委託業務名 R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池
地質調査業務

注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な業務委託費の見積りのための一資料であり、委託契約を拘束するものではない。

※本業務の積算は、令和2年8月15日以降に適用する
土地改良工事積算基準 令和2年度 に基づいている。

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 1 9
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 1 9 ため池地質調査業務

項目名	内容
事業主体名	西部総合県民局農林水産部(美馬)
事業名	震災対策農業水利施設整備事業
地区名	徳島 1 9
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 1 9 ため池地質調査業務
施工場所	美馬市脇町小星他
業務番号	
業務区分	
積算区分	当初積算
地域区分	徳島県
地区区分	美馬 1
工期	
積算体系年月	令和 2 年 9 月
単価期適用年月	令和 2 年 8 月 A
歩掛期適用年番号	
電力会社名	

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接人件費～機械経費内訳				
直接人件費～機械経費	1.000	式		
・直接人件費～機械経費	1.000	式		
・・直接人件費～機械経費	1.000	式		
・・・地質調査ボーリング	1.000	式		
・・・原位置試験	1.000	式		
・・・サンプリング	1.000	式		
・・・資料整理とりまとめ	1.000	式		
・・・断面図等の作成	1.000	式		
・・・総合解析とりまとめ	1.000	式		
・・・室内土質試験	1.000	式		
・・・打合せ	1.000	式		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
間接調査費（施工管理費以外）内訳				
間接調査費（施工管理費以外）	1.000	式		
・ 旅費交通費	1.000	式		
・ ・ 旅費交通費	1.000	式		
・ ・ ・ 旅費交通費（調査）	1.000	式		
・ ・ ・ 旅費交通費（調査外業日帰用）	1.000	式		
・ 運搬費	1.000	式		
・ ・ 運搬費	1.000	式		
・ ・ ・ 運搬費	1.000	式		
・ 仮設費	1.000	式		
・ ・ 仮設費	1.000	式		
・ ・ ・ 仮設費	1.000	式		
・ その他	1.000	式		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費～機械経費					
・直接人件費～機械経費	1.000	式			
・・直接人件費～機械経費	1.000	式			
・・・地質調査ボーリング	1.000	式			1 式当たり
【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 66, 粘性土・シルト, .50m以下, 鉛直下方	19.200	m			単 A S 単 7号
【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 66, 固結シルト・固結粘土, .50m以下, 鉛直下方	14.300	m			単 A S 単 8号
【機械ボーリング(地質調査用)】 岩盤ボーリング(オルコア), 66, 軟岩, .50m以下, 鉛直下方	3.600	m			単 A S 単 9号
【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 86, 粘性土・シルト, .50m以下, 鉛直下方	6.400	m			単 A S 単 10号
【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 116, 粘性土・シルト, .50m以下, 鉛直下方	13.800	m			単 A S 単 11号
【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 116, 固結シルト・固結粘土, .50m以下, 鉛直下方	8.000	m			単 A S 単 12号
合 計					
・・・原位置試験	1.000	式			1 式当たり
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 粘性土・シルト,	18.000	回			単 A S 単 15号
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 固結シルト・固結粘土,	14.000	回			単 A S 単 16号
【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 軟岩,	4.000	回			単 A S 単 17号
【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験, ケーシング法, GL-10m以内	16.000	回			単 A S 単 18号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
・・・ サンプルング					1 式当たり
	1.000	式			
【サンプルング】 ソウールサンプルング	4.000	本			単 A S 単 13号
【サンプルング】 デニソサンプルング	8.000	本			単 A S 単 14号
合 計					
・・・ 資料整理とりまとめ					1 式当たり
	1.000	式			
【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 4.0	1.000	業務			単 A S 単 24号
合 計					
・・・ 断面図等の作成					1 式当たり
	1.000	式			
【断面図等の作成(一般調査業務費)】 4.0	1.000	業務			単 A S 単 25号
合 計					
・・・ 総合解析とりまとめ					1 式当たり
	1.000	式			
総合解析とりまとめ 土質定数設定	2.000	池			単 A T 単 2号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
・・・ 室内土質試験					1 式当たり
室内土質試験 土粒子の密度試験 JIS A 1202 3 個 / 試料	1.000	式			単 A
室内土質試験 土の含水比試験 JIS A 1203 3 個 / 試料	6.000	試料			単 A
室内土質試験 土の粒度試験 沈降分析(ふるい分析含)	6.000	試料			単 A
室内土質試験 土の液性限界試験 JIS A 1205 6 点 / 試料	6.000	試料			単 A
室内土質試験 土の塑性限界試験 JIS A 1205 3 個 / 試料	6.000	試料			単 A
室内土質試験 土の湿潤密度試験 A 法(ノギス法) 3 個 / 試料	6.000	試料			単 A
三軸圧縮試験 CU 試験 径 50 mm(間げき水圧測定含む)	6.000	試料			単 A
合 計					
・・・ 打合せ					1 式当たり
打合せ(地質調査用)	1.000	式			単 A
..... 打合せ(地質調査用)	2.000	回			S 単 26号
.....	1.000	回			単 A S 単 27号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
間接調査費(施工管理費以外)					
・旅費交通費	1.000	式			
・ ・旅費交通費	1.000	式			
・ ・ ・旅費交通費(調査)	1.000	式			1 式当たり
打合せ(調査旅費・交通費) 通勤により打合せ,,ライトバン,,1時間, L < 100km (100km未満)	3.000	回			単 A S 単 28号
合 計					
・ ・ ・旅費交通費(調査外業日帰用)	1.000	式			1 式当たり
旅費交通費(調査外業日帰用)	1.000	式			単 A X 単 1号
合 計					
・運搬費	1.000	式			
・ ・運搬費	1.000	式			
・ ・ ・運搬費	1.000	式			1 式当たり
資材運搬費 3t車 2.9t吊外-ン付	1.000	日			単 A T 単 1号
【現場内小運搬】 特装車運搬(カ-ラ),100m以下 総運搬距離	2.000	ton			単 A S 単 19号
合 計					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
	主任技師		人		1.000 人	当たり算出
	主任技師			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分					
	主任技師		人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単 - 2号 ***					
	技師 (A)		人		1.000 人	当たり算出
	技師 (A)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分					
	技師 (A)		人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単 - 3号 ***					
	技師 (B)		人		1.000 人	当たり算出

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単 価	金 額	備 考
	技師 (B)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分					
	技師 (B)		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単 - 4号 ***					
	技師 (C)		人		1.000 人	当たり算出
	技師 (C)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分					
	技師 (C)		人			
	合 計					算出数量 1.000 人
	単 価					
	*** S単 - 5号 ***					
	運転手 (一般)		人		1.000 人	当たり算出
	運転手 (一般)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	運転手 (一般)		人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単価					
	*** S単 - 6号 ***					
	トラック[クレーン装置付]		日		1.000 各単位	当たり算出
	トラック[クレーン装置付] クレーン3t級 2.9t吊			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)機械コード 単位が日のみ 2)機械損料算出区分	M03105				
	3)運転 1 日 当たり 運転 時間 (T) 4)運転 日 対 する 供 用 日 の 割 合 (YC)					
	5)単価計上区分 6)燃料区分					
	7)燃料の計上方法 8)燃料消費量(入力の場合)					
	9)交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
	トラック[クレーン装置付]		供用日			<損料>
	軽油 燃料給油	46.000	L			
	合計					算出数量 1.000 各単位
	単価		各単位			
	単位					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 7号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 66, 粘性土・シルト, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(ノコア)				
	2)孔径区分	66				
	3)土質区分	粘性土・シルト				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング(ノコアボーリング 深度50m以下) 66mm 粘性土・シルト 鉛直下方		1.000	m		
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 8号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(ノコア), 66, 固結シルト・固結粘土, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(ノコア)				
	2)孔径区分	66				

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)土質区分	固結シルト・固結粘土				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング (ノコホ-リング 深度50m以下) 66mm 固結シルト・固結粘土 鉛直下方	1.000	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 9号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 岩盤ホ-リング(オールコア), 66., 軟岩, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	岩盤ホ-リング(オールコア)				
	2)孔径区分	66				
	4)岩区分	軟岩				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	岩盤ボーリング(深度50m以下) 66mm 軟岩 鉛直下方	1.000	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 10号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 86, 粘性土・シルト, 50m以下, 鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(オルコア)				
	2)孔径区分	86				
	3)土質区分	粘性土・シルト				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング(オルコア) 深度50m以下) 86mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 11号 ***					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 116,粘性土・シルト,,50m以下,鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(オルコア)				
	2)孔径区分	116				
	3)土質区分	粘性土・シルト				
	5)せん孔深度	50m以下				
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング(オルコアボーリング 深度50m以下) 116mm 粘性土・シルト 鉛直下方	1.000	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 12号 ***					
	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1.000 m	当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ボーリング(オルコア), 116,固結シルト・固結粘土,,50m以下,鉛直下方			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)作業区分	土質ボーリング(オルコア)				
	2)孔径区分	116				
	3)土質区分	固結シルト・固結粘土				
	5)せん孔深度	50m以下				

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	6)せん孔方向	鉛直下方				
	土質ボーリング(オルソボ [®] -リング 深度50m以下) 116mm 固結シルト・固結粘土 鉛直下方	1.000	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 13号 ***					
	【サンプリング】		本		1.000 本	当たり算出
	【サンプリング】 シンウォールサンプリング			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	シンウォールサンプリング				
	シンウォールサンプリング 粘性土	1.000	本			
	合計					算出数量 1.000 本
	単価		本			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 14号 ***					
	【サンプリング】		本		1.000 本	当たり算出
	【サンプリング】 デニソソップ リンク			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	デニソソップ リンク				
	デニソソサンプリング 粘性土	1.000	本			
	合 計					算出数量 1.000 本
	単 価		本			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 15号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,粘性土・シルト,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 粘性土・シルト				
	標準貫入試験 粘性土・シルト	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 1 9
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 1 9 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 16号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,固結シルト・固結粘土,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 固結シルト・固結粘土				
	標準貫入試験 固結シルト・固結粘土	1.000	回			
	合 計					算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 17号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 1 9
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 1 9 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,軟岩,			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分	標準貫入試験 軟岩				
	標準貫入試験 軟岩	1.000	回			
	合計					算出数量 1.000 [各単位]
	単価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 18号 ***					
	【サウンディング及び原位置試験】		回		1.000 [各単位]	当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 現場透水試験,ケーシング法,GL-10m以内			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格区分 3)適用基準	現場透水試験 ケーシング法 GL-10m以内				
	現場透水試験 ケーシング法 GL- 10m以内	1.000	回			
	合計					算出数量 1.000 [各単位]
	単価		[各単位]			
	地質調査技師 外業		人			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 19号 ***					
	【現場内小運搬】		ton		1.000 ton	当たり算出
	【現場内小運搬】 特装车運搬(ｸｰﾗ),100m以下 総運搬距離			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格	特装车運搬(ｸｰﾗ) 100m以下 総運搬距離				
	現場内小運搬 特装车運搬(ｸｰﾗ) 100m以下 総運搬距離		1.000 ton			
	合計					算出数量 1.000 ton
	単 価		ton			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 20号 ***					
	【足場仮設】		箇所		1.000 箇所	当たり算出
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分 2)規格	平坦地足場 高さ0.3m以下				
	3)深度区分	50m以下				

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	平坦地足場 板材足場 (0 . 3 m以下)	1.000	箇所			
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 21号 ***					
	【足場仮設】		箇所		1.000 箇所	当たり算出
	【足場仮設】 傾斜地足場,地形傾斜 15°以上~30°未満,50m以下			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)施工区分	傾斜地足場				
	2)規格	地形傾斜 15°以上~30°未満				
	3)深度区分	50m以下				
	傾斜地足場 地形傾斜 15~30° 5 0 m以下	1.000	箇所			
	合計					算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 22号 ***					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	【準備及び跡片付け】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【準備及び跡片付け】			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)準備及び跡片付け	計上する				
	準備及び跡片付け		1.000 業務			
	合計					算出数量 1.000 業務
	単価		業務			
	地質調査技師 外業		人			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 23号 ***					
	【その他間接調査費】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【その他間接調査費】 0箇所,8箇所,0箇所			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)環境保全	0箇所				
	2)調査孔閉塞	8箇所				
	3)給水費	0箇所				
	環境保全 仮囲い		0.000 箇所			
	調査孔閉塞		8.000 箇所			
	給水費(ポンプ運転) 20m以上150m以下		0.000 箇所			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 1.000 業務
	単価		業務			
	主任地質調査員 外業		人			
	地質調査員 外業		人			
	*** S単 - 24号 ***					
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 4.0			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)対象土質ボ`-リング`本数	4				
	2)対象岩盤ボ`-リング`本数	0				
	資料整理とりまとめ 一般調査業務費		業務	0.920		
	合計					算出数量 1.000 業務
	単価		業務			
	*** S単 - 25号 ***					
	【断面図等の作成(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	当たり算出
	【断面図等の作成(一般調査業務費)】 4.0			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)対象土質ボ`-リング`本数	4				
	2)対象岩盤ボ`-リング`本数	0				
	断面図等の作成 一般調査業務費		業務	0.920		

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 1.000 業務
	単価		業務			
	*** S単 - 26号 ***					
	打合せ(地質調査用)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ(地質調査用)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)打合せ					
	2)主任技師人数					
	3)技師(A)人数					
	4)技師(B)人数					
	5)打合せ日数					
	6)往復移動日数					
	主任技師		人			
	技師(A)		人			
	技師(B)		人			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単 - 27号 ***					
	打合せ(地質調査用)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ(地質調査用)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2 馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)打合せ					
	2)主任技師人数					
	3)技師(A)人数					
	4)技師(B)人数					
	5)打合せ日数					
	6)往復移動日数					
	主任技師		人			
	技師(A)		人			
	技師(B)		人			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単 - 28号 ***					
	打合せ (調査旅費・交通費)		回		1.000 回	当たり算出
	打合せ (調査旅費・交通費) 通勤により打合せ...ライトバン...1時間, L < 100km (100km未満)			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)地質調査技師配置人員					
	2)主任地質調査員配置人員					
	3)地質調査員配置人員					
	4)打合せ日数					
	5)往復移動日数					
	6)宿泊区分	通勤により打合せ				
	9)交通機関区分	ライトバン				
	10)高速道路往復料金(税別)					
	11)鉄道往復1人当料金(税別)					
	12)バス往復1人当料金(税別)					
	13)船舶往復1人当料金(税別)					
	14)航空往復1人当料金(税別)					

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島 19
業務名	R 2馬耕 震災対策 徳島 19 ため池地質調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	15)ライトバン使用日数					
	16)時間区分	1時間				
	17)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
	ライトバン[二輪駆動]		日			<損料>
	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.600	L			
	合計					算出数量 1.000 回
	単価		回			
	*** S単 - 29号 ***					
	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 2. A - 4 ,100,3cm,2			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	1)報告書部数(部)	2.000				
	2)規格区分	A - 4				
	3)枚数区分(枚)	100				
	4)厚さ区分	3cm				
	5)CD-R枚数(枚)	2.000				
	報告書焼付代(コピー)					
	A - 4以下 100枚	2.000	部			
	簡易加除式ファイル					
	A 4縦型幅3cm(チューブ・パイプファイル)	2.000	冊			
	CD - R					
	CD - R(記録面色素フタロシアニン)700MB	2.000	枚			
	合計					算出数量 1.000 式
	単価		式			

事業名	震災対策農業水利施設整備事業 徳島19
業務名	R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単 - 1号 ***					
	資材運搬費		日		1.000	日 当たり算出
	3t車 2.9t吊クレーン付 運転手(一般)	1.000	人			S単 5号
	トラック[クレーン装置付] 、ハ'-スリ3t級 2.9t吊	1.000	日			S単 6号
	合 計					算出数量 1.000 日
	単 価		日			
	*** T単 - 2号 ***					
	総合解析とりまとめ		池		1.000	池 当たり算出
	土質定数設定 主任技師	0.050	人			S単 1号
	技師(A)	0.150	人			S単 2号
	技師(B)	0.500	人			S単 3号
	技師(C)	1.000	人			S単 4号
	合 計					算出数量 1.000 池
	単 価		池			

数量集計表

作業項目	詳細事項	単位	数量			
			全体	下の池	滝ノ宮池	
1. 打合せ		業務	1.0			
2. 調査ボーリング						
機械ボーリング 66	粘性土・シルト	m	19.2	16.3	2.9	
	固結シルト・固結粘土	m	14.3	12.0	2.3	
	軟岩	m	3.6	3.0	0.6	
機械ボーリング 86	粘性土・シルト	m	6.4	3.5	2.9	
機械ボーリング 116	粘性土・シルト	m	13.8	8.1	5.7	
機械ボーリング 116	固結シルト・固結粘土	m	8.0	4.0	4.0	
3. 原位置試験						
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	18.0	16.0	2.0	
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	14.0	12.0	2.0	
標準貫入試験	軟岩	回	4.0	3.0	1.0	
現場透水試験	ケーシング法	回	16.0	14.0	2.0	
4. サンプルング	シンウォールサンプルング	本	4.0	2.0	2.0	
	デニソンサンプルング	本	8.0	4.0	4.0	
5. 資料整理取りまとめ						
ボーリング本数	4本	業務	1.0	3.0	1.0	
6. 断面図作成						
ボーリング本数	4本	業務	1.0	3.0	1.0	
7. 室内試験						
土粒子の密度試験		試料	6.0	3.0	3.0	
土の含水比試験		試料	6.0	3.0	3.0	
土の粒度試験		試料	6.0	3.0	3.0	
土の液性限界試験		試料	6.0	3.0	3.0	
土の塑性限界試験		試料	6.0	3.0	3.0	
土の湿潤密度試験		試料	6.0	3.0	3.0	
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	6.0	3.0	3.0	
8. 資機材運搬 (1箇所当り2t計上)	3t車, 2.9t吊クレーン付 (箇所数 - 1日計上)	日	1.0	1.0	1.0	
人肩運搬	50m以下	箇所	-	-	-	
特装車運搬	100m以下	箇所	2.0	1.0	1.0	
	100 ~ 500m	箇所	-	-	-	
モノレール運搬	100m以下	箇所	-	-	-	
	100 ~ 500m	箇所	-	-	-	
9. 仮設足場						
平坦地足場		箇所	2.0	1.0	1.0	
傾斜地足場	15 ~ 30° 未満	箇所	3.0	2.0	1.0	
水上足場	水深3m以下	箇所	-	-	-	
10. その他間接調査費	調査孔閉塞, 給水	業務	1.0	1.0	1.0	

作業数量表

下の池

作業項目	詳細事項	単位	数量	備考
1. 打合せ		業務	1.0	
2. 調査ボーリング				3箇所 L= 31.3m
機械ボーリング 66	粘性土・シルト	m	16.3	
	固結シルト・固結粘土	m	12.0	
	軟岩	m	3.0	
機械ボーリング 86	粘性土・シルト	m	3.5	不攪乱試料の採取
機械ボーリング 116	粘性土・シルト	m	8.1	不攪乱試料の採取
機械ボーリング 116	固結シルト・固結粘土	m	4.0	不攪乱試料の採取
3. 原位置試験				
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	16.0	
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	12.0	
標準貫入試験	軟岩	回	3.0	
現場透水試験	ケーシング法	回	14.0	
4. サンプリング	シンウォールサンプリング	本	2.0	
	デニソンサンプリング	本	4.0	
5. 資料整理取りまとめ				
ボーリング本数		本	3.0	
6. 断面図作成				
ボーリング本数		本	3.0	
7. 室内試験				
土粒子の密度試験		試料	3.0	
土の含水比試験		試料	3.0	
土の粒度試験		試料	3.0	
土の液性限界試験		試料	3.0	
土の塑性限界試験		試料	3.0	
土の湿潤密度試験		試料	3.0	
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0	
8. 資機材運搬(1箇所当2t計上)	3t車, 2.9t吊クレーン付	日	1.0	(箇所数 - 1日計上)
人肩運搬	50m以下	箇所	-	
特装車運搬	100m以下	箇所	1.0	
	100m ~ 500m	箇所	-	
モノレール運搬	100m以下	箇所	-	
	100m ~ 500m	箇所	-	
9. 仮設足場				
平坦地足場		箇所	1.0	
傾斜地足場	15° ~ 30° 未満	箇所	2.0	
水上足場	水深3m以下	箇所	-	
10. その他間接調査費	調査孔閉塞、給水	業務	1.0	

下の池

作業項目	詳細事項	単位	数量
1. 調査ボーリング			
機械ボーリング 66	粘性土・シルト	m	16.3
	固結シルト・固結粘土	m	12.0
	軟岩	m	3.0
機械ボーリング 86	粘性土・シルト	m	3.5
機械ボーリング 116	固結シルト・固結粘土	m	12.1
2. 原位試験			
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	16.0
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	12.0
標準貫入試験	軟岩	回	3.0
現場透水試験	ケーシング法	回	14.0
3. サンプリング	シンウォールサンプリング	本	2.0
	デニソンサンプリング	本	4.0
4. 資料整理取りまとめ			
ボーリング本数		本	3.0
5. 断面図作成			
ボーリング本数		本	3.0
6. 室内試験			
土粒子の密度試験		試料	3.0
土の含水比試験		試料	3.0
土の粒度試験		試料	3.0
土の液性限界試験		試料	3.0
土の塑性限界試験		試料	3.0
土の湿潤密度試験		試料	3.0
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0
7. 資機材運搬	3L車, 2.9t吊クレーン付	日	1.0
人肩運搬	50m以下	箇所	-
特装車運搬	100m以下	箇所	1.0
	100m ~ 500m	箇所	-
モノレール運搬	100m以下	箇所	-
	100m ~ 500m	箇所	-
8. 仮設足場			
平坦地足場		箇所	1.0
傾斜地足場	15° ~ 30° 未満	箇所	2.0
水上足場	水深3m以下	箇所	-

堤高	H1	H2	H3	H0	備考
8.1m	8.1m	4.1m	4.1m	5.0m	H1=堤高, H2, H3 = H1の1/2, H0は5mまたは堤高のいずれか小さい方

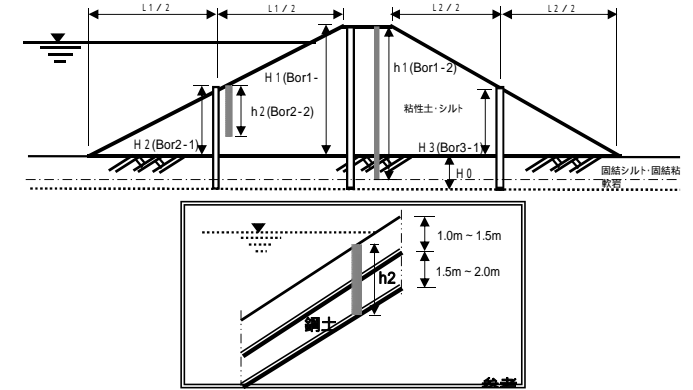
機械ボーリング 66						
土質区分	堤体		基礎		深度計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
層厚比率		H0*80%	H0*20%			
Bor1-1	8.1m	4.0m	1.0m	13.1m		
Bor2-1	4.1m	4.0m	1.0m	9.1m		
Bor3-1	4.1m	4.0m	1.0m	9.1m		
土質別深度	16.3m	12.0m	3.0m	31.3m		

機械ボーリング 86, 116						
土質区分	堤体		基礎		深度計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-2	8.1m	4.0m	-	12.1m	Bor1-2は 116で削孔	
Bor2-2	3.5m	-	-	3.5m	Bor2-2は堤高が7m未満はH2, 7m以上は3.5mとし 86で削孔	
土質別深度	11.6m	4.0m	-	15.6m		

標準貫入試験						
土層区分	堤体		基礎		計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-1	8回	4回	1回	13回	層厚が1m未満は1回 層厚が1m以上は整数値層厚回数	
Bor2-1	4回	4回	1回	9回		
Bor3-1	4回	4回	1回	9回		
計	16回	12回	3回	31回		

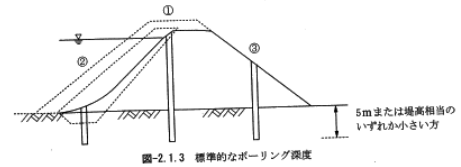
現場透水試験					
	Bor1-1	Bor1-2	Bor1-3	計	備考
回数	6回	4回	4回	14回	66深度計 / 2mの整数値回数

サンプリング						
土層区分	堤体		基礎		計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-2	2本	2本	-	4本	土質別層厚が2m未満は1本, 2m以上は2本	
Bor2-2	2本	-	-	2本		
計	4本	2本	-	6本		



b. ボーリング位置及び本数の決定
 ボーリング位置及び本数は、堤体最大断面の中央及び上下流1カ所ずつの計3カ所を標準とする。ただし、山池の袖部、皿池等の堤長が長い場合は現場諸条件を考慮し追加調査を行う。

c. ボーリングの深度
 ボーリングの深度は、基礎地盤面からおおむね5m、又は堤高相当深さのいずれか浅い方を標準とする(図-2.1.3)。この深度までを調査することにより、各設計段階で必要とする地盤の透水性及び強度を把握するには十分と考えられる。なお、ここでいう基礎地盤面は、既存資料、あるいはボーリング作業時に判断されるが、判断が困難な場合は現況底層底面の高さとしてよい。



(c) 標準貫入試験
 標準貫入試験は一般に1mごとに実施するが、土層に変化があれば可能な限り、少なくとも各層に1回は実施する。

(b) 透水試験
 透水試験は、バックー法により、掘進するごとに連続して行う。ただし、ボーリング孔壁が自立しないような土質(水の多い砂や礫等)の場合は、ケーシング法が良好な結果が得られることがある。試験長は2mを標準とするが、透水性が大きい場合は、試験長を短くして透水箇所を確認する。また、基礎地盤面付近にあっては試験長をできる限り短くする。注水圧は、堤体に影響が及ばない範囲とする。

作業数量表 滝ノ宮池 参考資料：「H10 ため池滝ノ宮池調査委託業務 報告書」

作業項目	詳細事項	単位	数量	備考
1. 打合せ		業務	1.0	
2. 調査ボーリング				1箇所 L= 5.8m
機械ボーリング 66	粘性土・シルト	m	2.9	
	固結シルト・固結粘土	m	2.3	
	軟岩	m	0.6	
機械ボーリング 86	粘性土・シルト	m	2.9	不攪乱試料の採取
機械ボーリング 116	粘性土・シルト	m	5.7	不攪乱試料の採取
機械ボーリング 116	固結シルト・固結粘土	m	4.0	不攪乱試料の採取
3. 原位置試験				
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	2.0	
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	2.0	
標準貫入試験	軟岩	回	1.0	
現場透水試験	ケーシング法	回	2.0	
4. サンプリング	シンウォールサンプリング	本	2.0	
	デニソンサンプリング	本	4.0	
5. 資料整理取りまとめ				
ボーリング本数		本	1.0	
6. 断面図作成				
ボーリング本数		本	1.0	
7. 室内試験				
土粒子の密度試験		試料	3.0	
土の含水比試験		試料	3.0	
土の粒度試験		試料	3.0	
土の液性限界試験		試料	3.0	
土の塑性限界試験		試料	3.0	
土の湿潤密度試験		試料	3.0	
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0	
8. 資機材運搬(1箇所当2t計上)	3t車, 2.9t吊クレーン付	日	1.0	(箇所数 - 1日計上)
人肩運搬	50m以下	箇所	-	
特装車運搬	100m以下	箇所	1.0	
	100m ~ 500m	箇所	-	
モノレール運搬	100m以下	箇所	-	
	100m ~ 500m	箇所	-	
9. 仮設足場				
平坦地足場		箇所	1.0	
傾斜地足場	15° ~ 30° 未満	箇所	1.0	
水上足場	水深3m以下	箇所	-	
10. その他間接調査費	調査孔閉塞、給水	業務	1.0	

滝ノ宮池

作業項目	詳細事項	単位	数量
1. 調査ボーリング			
機械ボーリング 66	粘性土・シルト	m	2.9
	固結シルト・固結粘土	m	2.3
	軟岩	m	0.6
機械ボーリング 86	粘性土・シルト	m	2.9
機械ボーリング 116	固結シルト・固結粘土	m	9.7
2. 原位試験			
標準貫入試験	粘性土・シルト	回	2.0
標準貫入試験	固結シルト・固結粘土	回	2.0
標準貫入試験	軟岩	回	1.0
現場透水試験	ケーシング法	回	2.0
3. サンプルング	シンウォールサンプリング	本	2.0
	デニソンサンプリング	本	4.0
4. 資料整理取りまとめ			
ボーリング本数		本	1.0
5. 断面図作成			
ボーリング本数		本	1.0
6. 室内試験			
土粒子の密度試験		試料	3.0
土の含水比試験		試料	3.0
土の粒度試験		試料	3.0
土の液性限界試験		試料	3.0
土の塑性限界試験		試料	3.0
土の湿潤密度試験		試料	3.0
三軸圧縮試験	Cuber試験	試料	3.0
7. 資機材運搬	3t車, 2.9t吊クレーン付	日	1.0
人肩運搬	50m以下	箇所	-
特装车運搬	100m以下	箇所	1.0
	100m ~ 500m	箇所	-
モノレール運搬	100m以下	箇所	-
	100m ~ 500m	箇所	-
8. 仮設足場			
平坦地足場		箇所	1.0
傾斜地足場	15° ~ 30° 未満	箇所	1.0
水上足場	水深3m以下	箇所	-

「Bor1-1」「Bor3-1」は「H10 ため池滝ノ宮池調査委託業務 報告書」による

堤高	H1	H2	H3	H0	備考
5.7m	-	2.9m	-	2.9m	H1=堤高、H2,H3=H1の1/2、H0は5mまたは堤高のいずれか小さい方

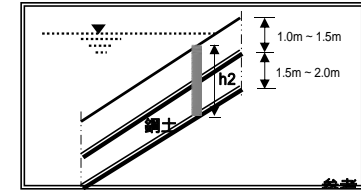
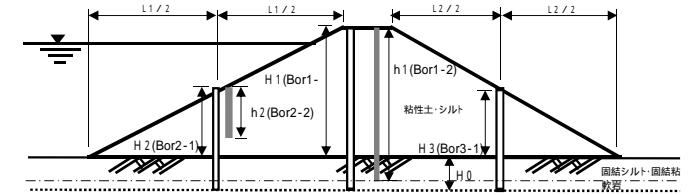
機械ボーリング 66						
土質区分	堤体		基礎		深度計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
層厚比率	H0*80%		H0*20%			
Bor1-1	-	-	-	0.0m		
Bor2-1	2.9m	2.3m	0.6m	5.8m		
Bor3-1	-	-	-	0.0m		
土質別深度	2.9m	2.3m	0.6m	5.8m		

機械ボーリング 86, 116						
土質区分	堤体		基礎		深度計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-2	5.7m	4.0m	-	9.7m	Bor1-2は 116で削孔 Bor2-2は堤高が7m未満はH2、7m以上は3.5mとし 86で削孔	
Bor2-2	2.9m	-	-	2.9m		
土質別深度	8.6m	4.0m	-	12.6m		

標準貫入試験						
土層区分	堤体		基礎		計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-1	-	-	-	-	-	
Bor2-1	2回	2回	1回	5回	層厚が1m未満は1回 層厚が1m以上は整数値層厚回数	
Bor3-1	-	-	-	-	-	
計	2回	2回	1回	5回		

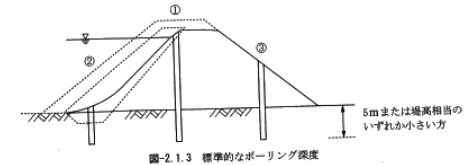
現場透水試験					
	Bor1-1	Bor2-1	Bor3-1	計	備考
	回数	-	2回	-	2回

サンプリング						
土層区分	堤体		基礎		計	備考
	粘性土・シルト	固結シルト・固結粘土	軟岩			
Bor1-2	2本	2本	-	4本	土質別層厚が2m未満は1本、2m以上は2本	
Bor2-2	2本	-	-	2本		
計	4本	2本	-	6本		



b. ボーリング位置及び本数の決定
ボーリング位置及び本数は、堤体最大断面の中央及び上下流1カ所ずつの計3カ所を標準とする。ただし、山池の袖部、皿池等の堤長が長い場合は現場踏査条件を考慮し追加調査を行う。

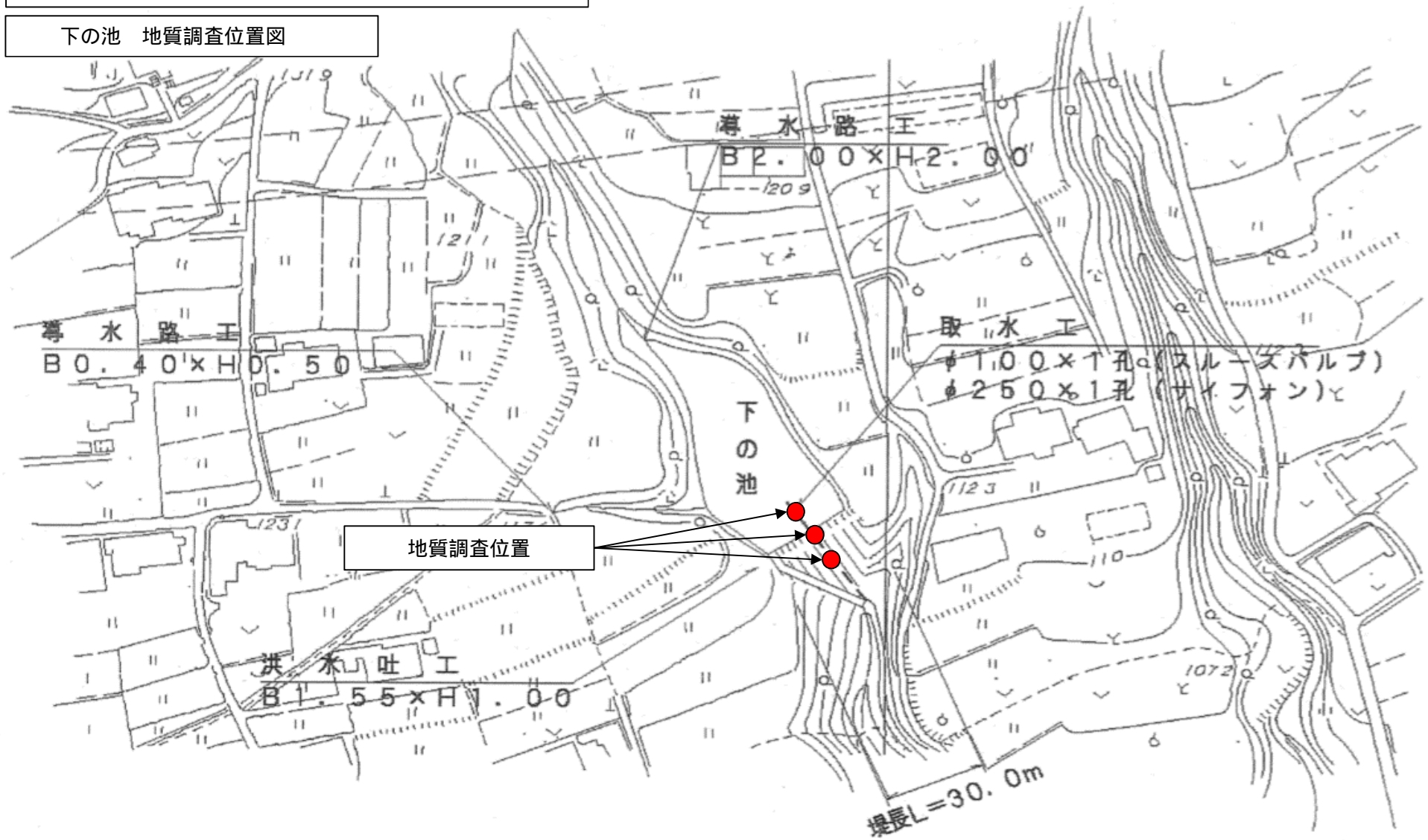
c. ボーリングの深度
ボーリングの深度は、基礎地盤面からおおむね5m、又は堤高相当深さのいずれか浅い方を標準とする(図-2.1.3)。この深度までを調査することにより、各設計段階で必要とする地盤の透水性及び強度を把握するには十分と考えられる。なお、ここでいう基礎地盤面は、既存資料、あるいはボーリング作業時に判断されるが、判断が困難な場合は現況底層底面の高さとしてよい。



(c) 標準貫入試験
標準貫入試験は一般に1mごとに実施するが、土層に変化があれば可能な限り、少なくとも各層に1回は実施する。

(b) 透水試験
透水試験は、バックカー法により、継進することに連続して行う。ただし、ボーリング孔壁が自立しないような土質(水の多い砂や礫等)の場合は、ケーシング法が良好な結果が得られることがある。試験長は2mを標準とするが、透水性が大きい場合は、試験長を短くして透水箇所を確認する。また、基礎地盤面付近にあつては試験長をできる限り短くする。注水圧は、堤体に影響が及ばない範囲とする。

下の池 地質調査位置図



R2馬耕 震災対策 徳島19 ため池地質調査業務

滝ノ宮池 地質調査位置図

